

「5/10（水）近畿市民派学習交流会イン門真」への職員派遣の要請

門真市市長 宮本一孝 殿

2017年5/2(火)昼 門真市議 戸田ひさよし

当方がモタモタしていたため、本要請状提出が大変遅くなってしまって恐縮ですが、今般別紙の通り開催される「5/10(水)近畿市民派学習交流会イン門真」につきまして、以下の点に関して職員派遣のご協力いただきたく存じますので、どうかよろしくお願いいたします。

【1】14：45～15：30の間の【講演3】「門真市の先進施策」の部分で、

＜耐震問題による市営新橋住宅の解体移設に関して、住民の自治と居住権を絶対的に尊重する全国初の「検討委方式」を取っている件＞

を取り上げます。

最初に私が概略説明をしますが、それに続いて市からも「庁内で検討してきたいきさつ」や「検討委員会の設置にいたる準備過程と現在の進捗状況」を説明するための担当職員を派遣して下さい。（「まちづくり部」や「企画財政部」が該当すると思います。）

【2】その後の15：30～17：00の間に、【講演4】「脱資本主義の社会に向けて動き始めた協同組合

運動について」～世界大会やソウル市等の映像も含めた講演＋質疑応答を行ないますが、講師は協同組合問題の第一人者たる津田直則先生であり、「地域での貧困対策・雇用創造」が切実な課題である門真市行政にとってまたとない「情報・知見の吸収の機会」でありますので、

「企画課」や「財政課」を有する企画財政部や、「地域政策課」や「産業振興課」を有する市民部などから何名かの職員の「傍聴の派遣」して下さい。

※ いずれも「職務時間内」における「職務と密接に関係する事柄での説明や情報収集」を「短時間に市役所近隣地に出向いて行なうだけ」の「有意義な業務」であり、「費用支出が全く発生しない」ものであります。（職員の参加費は当然無料。配布資料のコピー30部は戸田側で行なってもよい。）

またこういう職員派遣によって「門真市行政の熱心さ」が各方面の人々に印象づけられ、かつ講演有識者との面識も作られていく効果があります。

=====

※「近畿市民派学習交流会」は、30年近く続いている、関西の「非共産党的リベラル派・革新派の無所属議員」主体の緩やかな交流体です。その「学習交流会」は、「年4回、議会のない月の平日に、持ち回りで行なう」事となっており（議員は平日の方が集まり易い）、参加者数は30人～50人程度で、「8割方が現職議員、残りが議員志望者や元職と市民活動家や議員支援者」といった構成です。（門真市では戸田主催で過去2回開催されています）

（首長や議長が歓迎挨拶で顔を出してくれる所もあります）

※ 今回は5/2段階で、「現職議員15人」、「前議員3人」が参加確定。

県議：兵庫県議（丸尾牧）

市議：門真市議（戸田ひさよし）、大東市議（光城敏雄）、川西市議（宮坂まきこ）、高砂市議（井奥まさき）、向日市議（杉谷伸夫）、豊中市議（木村まこと）、高槻市議（高木りゅうた）、箕面市議（中西智子）、枚方市議（手塚たかひろ）、伊丹市議（高塚ばんこ）、芦屋市議（伊藤舞）、稲美町議（池田いつ子）、前泉南市議（小山広明）、前寝屋川市議（小西順子）

町議：島本町議（戸田靖子・中田みどり）、前島本町議（外村敏一・平野かおる）

その他、実績ある市民オンブズの人や大東市や四条畷市で教育委員会と提携した講演を行っているLGBTの当事者講師の人なども参加。